



# 市民と市長の対話集会

第107回

タウンミーティング記録集



平成29年1月21日(土曜日)

会場 子育て総合支援センター  
「ころころの森」

時間 午前10時半~12時半

協力：ひがしむらやま子育て応援ネット・ころころの森

東村山市

## ○開催内容

平成29年1月21日（土）午前10時半、子育て総合支援センター「ころころの森」において、「タウンミーティング」を開催いたしました。

当日は、約70名の方が参加された場でご意見をうかがいました。また、事前に東村山市のイイところ・オシイところについて募集したご意見やご質問を「ころころの森」に『壁面ツイッター』というかたちで掲示し、同感する意見にシールを貼っていただき、当日、市長が感想を述べました。

なお、開催にあたっては市内で子育て支援の活動をしている「ひがしむらやま子育て応援ネット」「ころころの森」の皆様にも、壁面ツイッターの実施や意見の集約、当日の運営等、ご協力をいただきました。ありがとうございました。

## ●会場アンケート結果（住所地・年齢・性別について）

アンケート用紙は会場入り口で配付し、うち18枚を回収しました。

### ・アンケート回答者の年齢

20代	1人
30代	14人
40代	2人
60代	1人
合計	18人

### ・性別

男性	5人
女性	13人
合計	18人

### ・住所地

本町	2人
久米川町	3人
秋津町	2人
恩多町	2人
その他市内	7人
市外	2人
合計	18人

## ○開催情報

●対象 市民の方（在勤・在学の方含む）

●申込み 申込みは不要です。当日、直接会場にお越しください。

（手話通訳・要約筆記が必要な方は、開催日の1週間前までに

FAXまたは電話またはEメールにてご連絡ください）

連絡先：東村山市役所 市民協働課 電話/(393)5111 fax/(393)6846

Eメール/kyodo@m01.city.higashimurayama.tokyo.jp

開催日	会場	時間
平成29年4月15日（土）	栄町ふれあいセンター	午前10時～正午

# タウンミーティング記録（概要）

会場での発言内容は発言要旨を記録し、個人名は伏せさせていただきました。

## 【市長あいさつ】

皆さま、おはようございます。東村山市長の渡部尚です。

本日は今、お話がありましたように「ひがしむらやま子育て応援ネット」の皆さんのお力添えで、ころころの森で皆さんとの対話集会、タウンミーティングをやらせていただくことになりました。

知らずに今日お子さんと遊びにきたのに、「なんだこりゃ」という方も中にはいらっしゃるかもしれませんが、お子さんと遊びながら少し耳を傾けていただくなり、ご意見のある方はご発言していただきたいと思っております。

東村山市は子育てしやすいまちを目指していろいろな取り組みをしていますけれども、なかなか至らないところがあるのも事実であろうと思います。今日はまさに小さいお子さんの子育て真っ盛りの若いお父さんやお母さんの声を聞かせていただいて、「子育てするなら東村山」を目指してさらにより良いまちづくりができればと考えておりますので、よろしく願いしたいと思っております。

それでは司会を務めていただきます「ひがしむらやま子育て応援ネット」のSさん、よろしくお願いいたします。

## ◎ 司会 ◎

それではまず、本日の流れをご説明いたします。第1部として前半の1時間はこのような対話のかたちを取らせていただきます。第2部として後半の1時間は、皆さんが遊んでいるところに市長さんがフリーで回ってラフにお話をさせていただける機会となっております。積極的にお声がけいただければ嬉しいなと思っております。

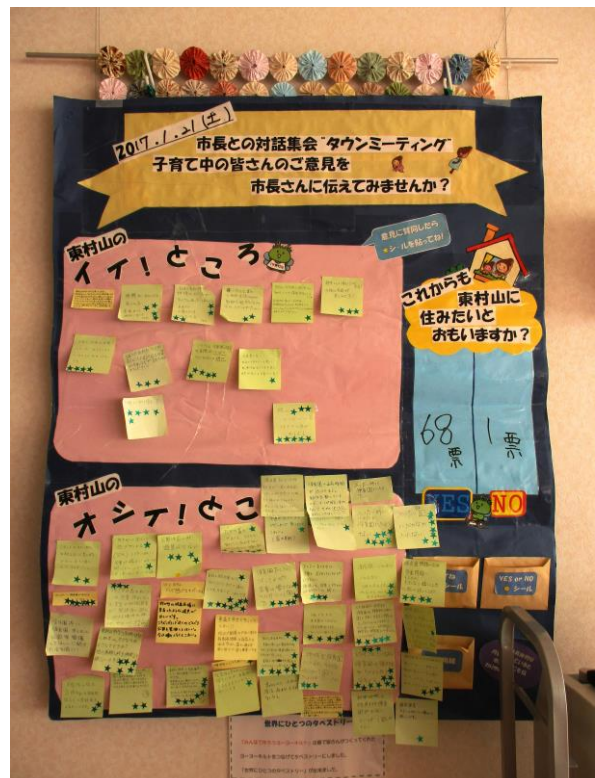
それでは第1部をスタートいたします。会場からご意見をいただく前に、「ころころの森」の名物と言っても過言ではないのですが、壁面ツイッターというのをしばらく貼らせていただいていたいました。ここにフリーで意見を書いて貼って、賛同する意見にはシールを貼るということで壁面ツイッターと呼んでいます。こちらについてまずご紹介させていただきたいと思っております。

## 【壁面ツイッターの報告】

<これからも東村山市に住み続けたい！>

YES 68票

NO 1票



### <東村山市のイイところ>

- 緑が多い . . . . . 11票
- 素敵な公園がある . . . . . 10票
- 子どもや家族で参加できるおまつりやイベントが多い . . . . . 10票
- 地域の子育てひろばが充実している。ぶくぶくやころころの森など子育て施設があるので、子どもはもちろん親も孤立しないですむ。情報交換もでき、ありがたい . . . . . 8票
- 児童館がいっぱい . . . . . 6票
- 久米川の阿波踊りがあるところ . . . . . 6票
- 都市として伸びしろがある。今後の発展が楽しみ . . . . . 4票
- 稲荷公園や熊野公園の地域の方のイベントが楽しい . . . . . 3票
- 治安が悪くない . . . . . 2票
- 秋津付近はアクセスが良い . . . . . 2票
- 市報が各家庭に配布され、市のサービスを情報発信していること。23区内に住んでいた時は新聞折り込みだったので、新聞をとらないと公共サービスがわからず不便だった . . . . . 2票
- 所沢市は下の子の産後2ヶ月で仕事復帰しないと上の子が退園させられるそう。東村山市はその心配をしなくてすむので、子ども一人ひとりとゆっくり関わる気持ちの余裕がもてる。子どもをのびのびと育てあげられるのはうれしい . . . . . 1票

#### ◎ 司会 ◎

この中からまずは「東村山のイイところ」について、市長さん何かご感想はありますでしょうか。

#### ◎ 市長 ◎

私も「東村山のイイところ」だと考えているところを挙げていただいているかなと思います。

やはり東村山の特徴というのは緑が多くて、東京都内では珍しいぐらい市民の皆さんのつながりや住民同士の絆が深く、地域の中でいろいろなお祭りやイベントが多いということが東村山の良さかなと思います。

反面、これからちょっと足りていない部分というのもいろいろとご意見があるのだらうと思いますので、それを聞かせていただければと考えます。

### <東村山市のオシイところ>

- 保育園に入れるかわからないので不安で次の子どもが産みたくても躊躇してしまう。入園を希望する人がみんな入れるような保育園の状況にはなりませんか? . . . . . 13票
- 認可されていない保育園を利用したいが、補助金が5,000円なのは安すぎると思います。値上げされる予定はありませんか? . . . . . 13票
- 保育園をたくさん作っているのに学童保育所は増えないので、入りにくいと聞きましたが本当ですか?子どもの行先の不安が保育園だけでなく学童までずっと続くのはしんどいです . . . . . 12票
- 市内全般的に歩道が狭いのに歩道内に電柱があり、車道に出ないと通れない道が多く怖いです。電柱が通行の妨げになっています。また道が狭く複雑なところが多いです。自転車に?子どもを乗せていると命の危険を感じることもあり、電柱は地中化を希望します . . . . . 11票
- 東村山駅方面からぶくぶくまでの道がとっても狭くてこわいです。東村山駅周辺の工事に伴って

- 改善されませんか? . . . . . 11票
- 入りたい保育園になかなか入れないので困っています . . . . . 11票
  - みんなが4月から産休明けとは限りません。それぞれの家庭の事情があるので年度途中から入れないことに疑問を感じます。どうなったら年度途中でも入園できるようになりますか? 10票
  - 鷹の道がせまくて、子どもと安心して歩けません。子どもを乗せて自転車もこわいです . 9票
  - 東村山駅前の徒歩圏内にベビー服を調達できる場所がありません。西松屋は少し離れていますし、久米川か東大和まで行かないと取り扱っている場所がありません。赤ちゃんを見かける割にはお店がないと思います . . . . . 8票
  - 市内に出産できる産婦人科が1軒しかありません。誘致はできませんか . . . . . 7票
  - 野口町子育てひろば「ぷくぷく」に駐車場がほしいです . . . . . 7票
  - 病児保育もう一か所くらい増やしてほしいです。 . . . . . 6票
  - 公園は広いけれど遊具が少なく遊びづらいです。もし希望すれば遊具が増えることはありますか? . . . . . 6票
  - 幼稚園が経営する保育園は保育料の他に園に支払いをするって聞きました。経済的に厳しいと幼稚園の経営する保育園は利用しにくいです。各園それぞれに追加徴収はしてもいいということになっているとは聞きましたが、上限などを決めることはできないのでしょうか?保育園が入りにくいのに、さらに選択の範囲が狭まり困ります . . . . . 6票
  - 下の子の育休中は学童を退所しなければならないし、仕事を復帰しても、再度入所できるとは言えないと聞きました。それはとても厳しいです . . . . . 5票
  - ころころの森あたりには児童館がなく、小学生や幼稚園生が放課後遊びに行ける場所がないので、ぜひ作ってほしいです。お願いします . . . . . 4票
  - 地域型保育園に入ると卒園後、園に入るのが大変です。そのため地域型保育園を希望できません。地域型保育園でもいいのですが、その後の保育を保障してはもらえないでしょうか? . . 4票
  - 恩多町に子育てひろばが欲しい。おひさま広場は週2回2時間しか開いてないので不便です。ころころの森があっても遠いので利用しづらい . . . . . 3票
  - 夏の10時開館はもう暑いので、ころころの森の開所時間にサマータイムがあると良いと思いますが、いかがですか? . . . . . 3票
  - 市役所の休日診療の利用時間が短いです。小児科医もいません . . . . . 3票
  - かかりつけの小児科がお休みの時に他の小児科をあたりましたが、通常の診療時間でも断られ、診てもらえる所を探すのに手間取りました。こういうことはよくあるのでしょうか? . . 3票
  - 青葉町、萩山町、恩多町など子育て施設が少ないところも充実させてほしい . . . . . 2票
  - 久米川駅の前でたばこを吸っている人が多い。ベンチがありますが、子どもと一緒に利用できません。東村山駅もそうですが、喫煙者以外が通ったり使用する場所に喫煙所を設けるのはやめてほしいので、場所の変更はできませんか? . . . . . 2票
  - また東村山駅改築に伴い、密閉室タイプの喫煙ルームにしてもらうことはできませんか?
  - ベビーカーを押して歩いていると、歩道がガタガタで怖い場所があります。市に伝えたらなおりますか? . . . . . 2票
  - 保育園の延長時間が19時までがほとんど。所沢は20時まで受け入れてもらえるそうで、東村山市もそのようになりませんか? . . . . . 2票
  - 地域型保育室はせっかく入れても2歳児で妊娠して育休をとると退園しなくてはならないと聞き

- ましたが本当ですか？もしそうなら困るので2人目を妊娠したくでもできません。・・・2票
- 一時保育が利用したい時になかなか利用できない状態ですが、どういった理由からでしょうか？  
また立川市は土日でも利用できる場所もあるので検討してほしいです ・・・2票
  - 確かに10年後には保育園が余るかもしれないけれど、今、困っている私たちを助けて欲しい。  
保育園を建てるのは難しいと思うので、他の自治体がやっているような臨時的な対策でもいい  
と思います。今、子どもを増やせる環境にしていくことが支援だと思うし、これからの社会の  
ためではないのかと思います ・・・2票
  - 住宅地(恩多町など)を回るバスが本数少なくとも良いので欲しい ・・・2票
  - 多摩湖町にバスを通してほしい ・・・2票
  - 東村山から次第に緑深い森や大木がなくなっています。空き地等の宅地化もどんどん進んで  
います。保護しないのでしょうか？ ・・・1票
  - 野口町の健康広場に昔あった遊具をまた設置してほしいです ・・・1票
  - シチズングランド近くのどんぐり公園が暗くて怖いので整備してほしいです ・・・1票
  - 旧江戸街道のダイエー側や新青梅街道の東村山西高入口近辺など、道が狭すぎる上にポコポコ  
で通りづらいです ・・・1票
  - 秋津地域には0歳児から5歳まで入れる認可保育園が一園しかないため困ります。なんとか対策  
をとってもらえませんか？ ・・・1票
  - 通常保育が18時までですが、都内出勤しているのでせめて18時30分までにしてほしいです  
・・・1票
  - 市立の幼稚園がないので費用がかかります。市立幼稚園はできませんか？ ・・・1票
  - 乳児の3カ月健診はとても混むと聞いたので1時間前に行って待っていましたが、30分前  
になって担当課の職員さんが「一列に並んで」と言うと、人がワッと詰め掛けて横入りしてきた人  
がいて不快に思いました。整理券の発券があれば解消すると思いますがいかがですか？ ・・・1票
  - 全生園内に保育園、老人ホーム、公園等整備してほしい。入所の方の理解を得てもっと開けた  
全生園になってほしいです ・・・1票

◎ 司会 ◎

次に「東村山のオシイところ」についてですが、保育園の問題がとても多かったのですけれども、9月に子ども育成課の方をお呼びして、事前ワークショップをさせていただいています。

その報告を応援ネットのHさんにさせていただきたいと思います。

◎ 応援ネット Hさん ◎

今、説明があったように、9月13日に皆さんと気軽な感じで子ども育成課の窓口にいる2名の職員の方と市役所のいきいきプラザ1階に「ころころたまご」といういろいろな相談ができるスペースがあって「ころころの森」のスタッフが常駐しているのですが、そこの方と私たち応援ネットの4者でワークショップというかパネルディスカッションみたいなことをさせていただきました。

なぜこれをしたかと言うと、毎年、壁面ツイッターをやっているんですけど、その意見の中で3大意見というのがありまして、保育園のこと・道路のこと、それから子育て環境のこととなっています。普段は保育園のことでは「保育園に入れたいから困る」とか「兄弟で同じ保育園に入りたい」というような意見が多いんですけども、今年あたりから保育園の制度が変わってそれに関わることで困難

さがあるというようなことがありまして、その保育制度がすごく難しいので、子ども育成課の方にご説明いただきながら、「ころころたまご」とか「ころころの森」とか壁面ツイッターで出た意見を元にお母さんが保育園に関して何を困っているのかということディスカッションさせていただきました。短い時間だったのでお母さんたちが保育制度を十分知ったりとか、疑問に答えてもらえるということが不十分だったと思いますが、そのお母さんたちが実際に職員の方々の話を聞いたり、職員の方々もお母さんたちの熱心な様子を感じたり、保育園の定員のことで自分たちが十分にできていないということの心苦しきはあるけれども、せめて窓口では皆さんの気持ちに寄り添って真剣に対応していきたいというような感想をいただいたりして、とても良い機会だったなと思っています。

◎ 司会 ◎

市長さんはこのことについてご存じでしょうか。

◎ 市長 ◎

簡単には聞きました。

◎ 司会 ◎

所管の方とお話するというのはなかなかない機会だったんですけども、お互いに「良かった」という意見がありましたし、職員の方も窓口だとどうしてもある問題に特化したことになるんですけども、「実際の生の声を直接聞いてとても良い機会になった」とおっしゃっていただけことが良かったなと思っています。

「東村山のオシイところ」に戻りますが、ここでもワークショップの他にもやはり保育園の問題が多かったので、いくつかまとめてみました。保育園に入園している方からの意見で「次の子が保育園に入れるかわからないので、次の子の妊娠を躊躇してしまう」という声が多くあり、それに賛同する方もたくさんおられました。保育園は仕事と子育てを両立するための施策なのにこのように思われる方が多い現状について、どう思われますか。

◎ 市長 ◎

最近、待機児の問題が非常にクローズアップされていて、特に昨年は政治がらみで「保育園落ちた。日本死ね」という衝撃的な言葉が国政や市政でも飛び交って、保育園の問題がすごく社会問題化しているという現状があります。ちょうど今、お仕事しながら子育てをしようとされている方々が、自分が妊娠して出産してちゃんと保育園に入れるのか不安だということが先行しているということは大変残念に思っています。

ただ、現状としては東村山市でも昨年の4月時点で70名を超える待機児童がいて、今年は恐らくもっと増えそうな勢いかなというふうに思っていますので、まだまだ量的な充足ができる状況にはないので、我々はもっとがんばらなければなりません。そうした環境を整えながら安心して妊娠や出産を考えられるような社会に近づけていくということがこれからの少子化を考えるとすごく大事なことだと考えています。

そういう意味では我々行政の役割というのは大きな責任があると思っていますので、いきなり待機児をゼロにはなかなかできませんけれども、これからも何とかがんばって限りなく待機児が出ないように努力してまいりたいと考えております。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。もういくつかこちらでまとめた質問をさせていただきます。

子ども・子育て支援新制度で地域型保育といって0～2歳までの小さいお子さんが入園する保育園ができました。ここに入園した方からの意見として、複数あがっておりました。まず1つ目が、3歳児からの入園先が確約できないことが不安である。2つ目は、2歳児で妊娠した場合に育休を取ると退園しなければならず、退園して出産した場合には兄弟で保育園探しをしなければいけない。こういう状況というのは6歳までの保育園に入れた人との大きな格差ができてしまう。そのことについて不安の声が多く挙がっていました。

◎ 市長 ◎

地域型保育園は、我々にとっては非常に重要な施設だと考えています。先ほど申し上げた待機児のほとんどが0・1・2歳児に集中していて、逆に4・5歳児になると認可保育園でも保育園によっては定員割れをしているところもあって、年齢によってバランスが良くないところがあります。しかももう1つは0～6歳まで入れるフルスペックの保育園を造るというのはものすごくお金がかかるのと、今、保育士の方を確保することが難しい中では、待機児が多い0・1・2歳児の保育ニーズに応えるという意味合いにおいては地域型保育施設というのは非常に重要な役割を担っていただいているというふうに考えております。

ただ一方で、ご指摘のとおり2歳児までですから3歳児以降は一応連携されている保育園や幼稚園に優先して入れるということはあるのですが、法律上、必ずしも確約されているものではないので、絶対に入れるのかと言われるとその時の園の状況によって、場合によっては入れなくなってしまうという恐れもないわけではありません。連携している保育園や幼稚園とのつなぎをどのように強化していくかというのはこれからの課題かなと考えておりますので、そこは安心感を持っていただけるような枠組みを考えていきたいというふうに考えております。

あと2歳児で育休を取ると、ということなのですが、結局2歳児は制度上の狭間にあって、地域型保育園は2歳児までなので3歳の時に上がる園というのは別の園に転園することになってしまいまして、優先入園はできないということです。そこについては市のほうも課題として受け止めて、前回の皆さんとのワークショップのことも踏まえて平成29年度からそういうことがないように是正すると所管から報告を受けていますので、そこは地域型保育園だからといって育休取ったから次の園に行けませんということはないようになりますので、そこはご安心をいただければと考えております。

ただ、連携している保育園の3歳児の枠にものすごく希望があった場合となると、どうしてもその保育園に入れなくなってしまう危険性があるので、冒頭申し上げたようにこれから0・1・2歳児の枠を増やすとすると上のお子さんの受け皿をきちんと確保できるようにしたいと考えております。

実は今、幼稚園も預かり保育の時間延長や3期休業期間もものすごくがんばって保育していただいているようになっていきますので、必ずしも認可保育園でなくても幼稚園でもある程度のカバーはできるような体制が取れてきていますので、その辺も少しずつ市民の皆さんにアピールしながら、実はいろいろな選択肢があるということを知っていただくと少し安心感がうまれるのかなと考えております。

◎ 司会 ◎

ありがとうございます。少しずつですけれども改善の兆しが伺えてとても良かったなというふうに思います。



それではここで、まず保育園の問題について何か会場からご意見のある方がいらっしゃいましたらお伺いしたいと思うのですけれども、どうでしょうか。

今9ヶ月の子どもがいて来年度復職する予定で、この前、保育園の申請をした。最近、引っ越してきて、東村山はころころの森とかで子どもを預けて遊べられて、とても住みやすいまちだと感じている。9月に保育園の担当の方がきた時のワークショップにも参加して話を聞いたが、その際に保育園の申請に関して初めてだったので「混雑しないか」とか、子連れでの申請で不安だったので、「当日は窓口を増やしていただけないか」という話をした。「窓口を増やす」という話だったので申請に行ったが、今年は申請する方が多いのか、初日だけでなく毎日かなりの人がきている状況で、1～3時間待ちとか4時間待ちしたママ友もいた。窓口の方も苦労して番号札を作ったり、「初日は来ないでください」と何度もおっしゃられたりと工夫していると感じられたが、小さい子を抱っこしながら4時間も待っていたり、私たちは一度、家に帰れば良いが多摩湖町とか遠くからいらっしゃる方に関しては4時間待ちとかだと帰ることもできないので大変だったのではないかと。そういったところで来年以降の申請方法を改善していただけないか。私たちからしたら市役所は近くて良いが、サンバルネとか秋津町のほうに別で会場を設けたり、窓口を今以上に増やしたり、別部署からのヘルプはなかなかできないかもしれないが、そういった工夫をしていただけないか。（本町 Sさん、栄町 Tさん）



◎ 市長 ◎

先ほど少し申し上げましたけれども、今年は例年以上に申込み数が多くて、窓口が大変混雑して、長時間にわたってお待たせしたケースが多々あったということは聞いていまして、大変申し訳なく思っております。

9月のワークショップに職員がお邪魔した時もお伝えしたと思いますが、俗説で早く申請したほうが入れるのではないかとということが言われていますけれども、実はそんなことは全くなくて、期間中に申し込んでいただければそれぞれの申請を指数化して判定をするということになりまして、申請をいつ出しても同じということになりますので、期間内であれば早く出しても遅く出しても同じということをご理解いただきたいと思います。

今ご提案いただいたように東村山市もそんなに広いまちではありませんけれども、お子さんを連れて市役所までくるのが大変なエリアというのは確かにあるので、そこをどうするか。職員もそんなに大勢いるわけではないので、どういう受付方法が可能か、工夫や検討をさせていただきたいと考えております。

あと、その時だけ他部署から一時的な応援等ができるかどうか。子ども家庭部の場合はどこのセクションも大変な状況なので、他の部から応援が取れるかどうか研究させていただければと考えております。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。それでは保育園についてもう1つだけ、こちらでまとめた質問をしたいと思っております。

これも壁面ツイッターにあった意見ですけれども、保育料に関する意見が多くありました。認可

外の保育園に通う子どもに対する補助金が少なかったり、施設によって補助金すらない現状は不公平ではないか、と。収入が低かったり安定しない人が認可外に通っている場合が多く、不公平感があるという点。また、幼稚園が運営する保育園でも園ごとに追加徴収がある場合があるのですけれども、生活するために仕事をしている家庭にとって厳しいという声もありました。この辺についてはいかがでしょうか。

◎ 市長 ◎

認可保育園の保育料というのは最終的には議会の議決を経て決めるという制度になっているので、東村山市の場合は認可保育園については概ね国基準の50%を保護者の方からいただいて賄っていきこうということで行っています。

認可外については基本的には認可園ほど国や東京都や市の助成がありませんので、その分どうしても保育料は高くなってしまおうという事情があるのかなと。認可外等については市の単独で一定程度の補助金は出していますが、額はそれほど大きな額とまでは言えないかもしれませんので、負担感が多いとおっしゃられる感覚はよく理解できると思います。

財政的に厳しい状況は続いていますけれども、今、東京都も緊急対策としていろいろ手を打ち始めていますので、その部分も活用しながら、通っている園によって大きく保護者負担の開きがないように、何とか少しでも努力ができればと考えております。

それと、幼稚園がやっている認定こども園等の追加徴収についてということなのですが、それは園の経営方針等もあるので一概に駄目ですということはなかなか言えません。そこについては入園する時にどういう状況なのか確認をして選んでいただくということも必要でしょうし、市としてもあまり過度な負担にならないように求めてまいりたいなというふうには考えております。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。

それではもう1点、この連続のかたちで質問があったのですけれども、学童保育所についてです。保育所に通っているご家庭は数年後には児童クラブを利用することになります。ころころの森を利用している乳幼児の保護者の方からも児童クラブについて多くのご意見がありました。保育園をたくさん造って、働いている人が増えている状況なのに、児童クラブは増えない。入りにくいと聞きましたが本当ですか。子どもの行先の不安が学齢期まで続くと思うとこの先とてもしんどい気持ちですというご意見が出ました。これについて市長さん、お願いします。

◎ 市長 ◎

学童保育についても実は新制度になって6年生までお預かりができるようになった関係もあって、今、東村山市ではクラブによっては入所ができないということで、保育園と同様に児童クラブでも待機児扱いになってしまっているお子さんがいるのは事実でございます。市としては、今後、児童クラブについても保育園同様、できるだけ待機児を解消して、お仕事をされている方が少なくとも低学年のうちには安心してお子さんをお預けいただけるように、何とか工夫をしていこうと考えております。

その中で、今、私どもとして模索しているのは、保育園の場合は公立の保育園もあれば民間の保育園もありますが、児童クラブは全部、市が直営で運営をしていて、児童クラブの職員は全て市の職員ということになっています。しかし今、児童クラブの厚生員を募集してもなかなか人が集まらないと

というような状況があったり、あと、児童クラブは大体児童館に併設されているか学校敷地内に建物を建ててそこでお預かりをするかたちをとっているのですが、もうキャパ（容量）や場所の確保が困難になってきているということで、これはいろいろ議論もあろうかと思いますが、今後は一定の民間活力も導入しながらいろいろな運営形態を模索して、何とか児童クラブのニーズについても応えていきたいと考えております。今、野火止第2児童クラブについては建て替えと併せて民間事業者に運営をお願いしたいということで野火止の児童クラブにお子さんを預けていらっしゃる保護者の皆さんと協議をさせていただいています。必ずしも民間だから保育の質が悪くなるというものでは決してないとは考えていますので、民間活力を活用しながら児童クラブについても何とか待機児解消を目指して努力をしていきたいと考えております。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。それでは今度は問題を限らずにいろいろなフリーの意見を伺いたいと思っております。会場の皆さん、何かありませんか。

テレビで保育士のお子さんを優先的に保育園に入れるということを言っていたが、その辺はどうでしょうか。

（野口町 Eさん）



◎ 市長 ◎

保育士の方が結婚・妊娠して出産されれば、仕事を続けるとなると保育士の方のお子さんもどこかの保育園でお預かりをするということになります。保育士不足になっている関係で「できるだけ優先してはどうか」という議論もございますが、今の東村山市では特にそこを考慮しているということはありません。先ほど申し上げたように勤務状況によって指数化をさせていただいて、そこからということになります。

今後、国や東京都の動向を見たりしながらその辺を考えていく必要はあるのかなと思っておりますが、現状では優先的というのはどういうかたちで行っていくかというのがなかなか難しいところもあるので、これからの検討課題とさせていただきたいと考えております。

保育士の職員が増えることにつながるのであれば積極的に行って欲しいというのが個人的な考え。

（野口町 Eさん）



◎ 市長 ◎

保育園の待機児問題の1つの背景には保育士不足がかなり大きなウェイト（重量）を占めていて、国や東京都でも保育士の育成・確保ということについてはいろいろな策を打ち始めていますし、また、出産を機に一度、家庭に入って職場を離れている保育士の方もいるので、そういった方が一定程度、ご自身の子育てが終わったあとに保育士として復帰できるようなこともいろいろ検討されています。

いずれにしても保育士さんがいないことには保育園の待機児の問題は解消できませんので、今、ご提案いただいたことを踏まえて、これから我々としても努力したいというふうに考えております。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。

久米川町2丁目に住んでいるが、気軽に歩いて遊びに行けるような公園が少ない。周りに畑とか家はたくさん建っていくが、そういったスペースに新しく公園を造るような計画はないのでしょうか。

(久米川町 Nさん)



◎ 市長 ◎

残念ながら新設で公園を造るという計画は久米川町エリアについては特段ありません。

市では今まで一定規模以上の宅地開発が行われた際には事業主の方においてミニ公園みたいなものを造ってきた経過があるのですが、そのエリアのお子さんが成長されるとそうした公園が徐々に使われなくなってしまう傾向があります。例えばそれらを整備してそれを原資にこれから宅地開発されるようなエリアに土地を求めて公園を造るとか、何かそういうことを考えなければならない時期にきているというふうに考えてはおります。

残念ながら今のところ、来年とか再来年ぐらいの近々のうちに久米川町2丁目周辺でつくるという計画はありませんが、ご要望いただいたということはこれから考えなければならないというふうに思います。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。

東村山駅の東口正面の道は自転車専用レーンが色分けされているが、車が路駐していると自転車がはみ出て避けなければいけなかったり、子どもがそこを走るのは危ない。しっかり歩道と分かれるようになったら良いと思う。

(久米川町 Nさん)



◎ 市長 ◎

「自転車専用レーンをつくっても、車の路上駐車がなくてあまり安全に通行できない」という声はよくいただいていて、市としてもあの辺についてはできるだけ駐停車している車がないように警察にパトロールを強化するようにお願いはしていますが、警察のほうも24時間ずっと付きっきりというわけにもいかないようですので、まだまだそこがうまくいっていないところがあります。

そこはこれからも警察と連携しながら、せっかく自転車専用レーンをつくっても危なくて自転車が通れないじゃないかということがないように安全に進めていきたいというふうに考えております。

市としては、都市計画道路と違って新しくできた16m規模等の道路については今後も自転車専用レーンをつくっていく計画ですけれども、小さなお子さんは危険がないように走っていただけるよう、その辺につきましてはこれから新規でつくる場合は工夫をしていきたいと考えております。

◎ 地域安全課より ◎

対策については警察との連携強化によるキャンペーンや交通安全指導のほか、注意喚起看板の設置等啓発に努めております。また、交通安全教育においても子どもから高齢者、企業に対して自転車の安全利用や迷惑駐車についての啓発を推進しております。なお、13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者については、標識の有無に関わらず、歩道通行が可能となっており、その他の方についても、道路を走ることが危険な場合などは歩道を通行することができます。

◎ 都市計画課より ◎

自転車と歩行者の動線が錯綜することのないように平面的分離を行い、安全に通行できるネットワーク形成を目指していきたいと考えています。

◎ 市街地整備課より ◎

1.6m規模の都市計画道路のうち、3・4・5号線は車道混在（車両・自転車混在）のため、車道脇に自転車走行を促す路面標示（ナビマーク\*）、3・4・27号線は、自転車専用通行帯（自転車レーン）の設置を計画しており、周辺道路状況など鑑み、事前に警視庁協議により何れも決定されます。

また、道路交通法により、「標識で許可された場所」「運転者が13歳未満・70歳以上の高齢者が身体が不自由な場合」「交通状況から止むを得ない場合」には歩道の通行が可能です。

※ナビマークとは…自転車が車道の左側を通行すべきことを、明確にするための道路標示です。

自転車はナビマークの矢印の方向に進行してください。自転車優先などの意味はないので、他の自動車や歩行者等に十分注意してください。



◎ 司会 ◎

ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。

多摩湖町に住んでいるので、働いていて子どもが病気になった時に病児保育が「たまほく」しかなくて、とても遠い。今後、西口エリアで働いていて子どもが熱を出してしまって回復期に預けられる施設とかを病院と提携してつくる計画はあるのでしょうか。

（多摩湖町 Oさん）



◎ 市長 ◎

市の考え方としては、お子さんの場合、容態が急変したりするケースがあるので、病児・病後児保育については病院、あるいは小児科のクリニックが併設しているようなものでなければならないと考えています。

「たまほく」の場合は病院の敷地内であって、病状によっては即お子さんが入院できる体制を取っていただいているので、私たちとしては非常に安心しているところです。ただ、おっしゃられるように青葉町は東に寄った地区なので、市の西側の方や南側の方にとっては連れて行くには不便だというお声は聞いております。

インフルエンザ等が流行した時はバッティングしてしまって通わせづらいということも聞きますが、年間を通じてみると利用率がまだ30~40%ぐらいなので、その辺の状況を見ながら今後の利用の伸びによってはエリア的に西口エリアとかも考えていく必要はあるかなと思っていますが、現状では数年先に西口エリアに病児・病後児保育の施設を確保するという計画はありません。

ただ、地理的に偏っているということは課題として考えているところでありますので、何とかお子さんを連れて行きやすい状況にするように心がけたいと思っております。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。

東京都が子育て応援パスポートを始めていて、東村山市民でも使えると思うが、小平市やさいたまでは市で市内の施設を利用する時に子育て中だと優遇されるという制度があると思う。東村山でも市で独自のものがあれば良いと思う。

(多摩湖町 Oさん)



◎ 市長 ◎

まだ当市ではそういった子育てをされている方がお買い物をするとう割引がきくとかいうことを市で音頭を取ってやっているということはありませんが、いろいろな自治体でそういうことが行われているというのは承知しておりますので、今後、先行している自治体を参考にしながら、研究させていただければなというふうに考えております。

◎ 子ども総務課より ◎

東京都の事業であります「子育て応援とうきょうパスポート」については、平成29年2月15日現在、17店舗が市内で協賛店舗として登録されています。

当市では、全国共通展開がなされている「子育て応援とうきょうパスポート」について、市ホームページに掲載しているほか、市でPRポスターを作り各所に掲示するなど、地域で子育てを応援する機運を高めるよう、周知活動に努めております。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。次に、オシイところの中で道路についての意見がとても多くありました。ベビーカーや自転車子どもを連れて通るのに道が狭いということと、電柱が張り出しているということと道の整備ということと電柱の地中化というようなことも複数挙げられていたのですが、市長さんその辺どうでしょうか。

◎ 市長 ◎

毎年ごろごろの森に伺うと、道路問題についてもいろいろとご意見をいただいているところです。市の基本的な考え方としては、先ほど申し上げたようにまちの中で幹線となる都市計画道路については今後も整備を進めていきます。都市計画道路は大体、最低でも16m幅が取れるので、歩道も2mぐらいで広めに取れるという利点があって、安心してベビーカーを押して歩けるような歩行空間をつくるとすると、やはり都市計画道路の整備というのが欠かせないと考えております。

現状の都市計画道路の整備については、今、市で行っているのは東村山駅の東口からスポーツセンターまでまだ止まっていますさくら通りです。あと1軒だけまだ用地の協議が整っていないお宅があるのですが、今年度中にはその両サイドは供用が開始できる運びになっていますので、良くなるかなと考えております。

その他には、東京都の事業として府中街道、それから新所沢街道等の事業が整備されています。

あと、鉄道の連続立体交差化事業に併せて、東村山駅周辺についてはこれから少しずつですけども道路整備が進んでいくと考えております。

それから既存道路でかなり傷んでいるところにつきましては、毎年、維持補修をしながら、ベビーカーや車いすの方にとっても通行しやすいようにしているところですが、既存道路の道路拡幅については相手のあることですので、一朝一夕にはなかなか進まないところがあるのも事実であります。

危険箇所については少しずつでも沿道の地権者の方のご理解をいただいて、拡幅等をしなければならぬ箇所については拡幅して歩道を広げるというようなことをこれからも進めていきたいと考えております。あと具体的に「この道路を直して欲しい」という箇所があれば、個々に教えていただければと思いますので、よろしくお願いします。

◎ 司会 ◎

応援ネットでは、昨年は道路と公園についてということで、所管の方に来ていただいてワークショップを行いました。そこで皆さんがよく話題にする鷹の道の踏切の計画とか、具体的な話について、丁寧にお話を伺いました。そういうことがわかると少し安心するということがあるかなと思います。道路はすぐにはなかなか難しいので、直接聞いてみるというのも良いかと思います。

それでは、他にご意見ありますでしょうか。

自分が車を運転できないというのもあるが、諏訪町方面のグリーンバスの本数が少なく、使いたい時に使えない。子育て世代だけでなく高齢者も本数が増えれば使いやすくなるのかなと思う。グリーンバスについては今までいろいろな状況があって今の状況があると思うが、気付いた点としてお伝えしたい。

(諏訪町 Oさん)



◎ 市長 ◎

諏訪町循環のグリーンバスを増やして欲しいということで、これは地域の方からは結構ご要望をいただいておりますが、率直に申し上げると、本数を増やすには相当お金がかかるのでなかなかできていないという問題があります。

東村山市では今、諏訪町循環、それから久米川町循環、それと東村山駅の東口から多摩北部医療センターを経由して秋津まで行く路線。それから昨年9月から実証運行ということで、東村山駅の西口から美住町・富士見町を通過して久米川駅まで行くルート。この4路線を運行させていただいております。お金の話を申し上げて恐縮ですが、今、これらを行うにあたって年間で大体5,000万円程度、市の持ち出しがあって、市としては、今回、新規で実証運行している美住町・富士見町方面のルートの収益がどの程度確保できるかを見ながら、例えば多摩湖町などいろいろな地域からも「うちの町にも通って欲しい」というご要望をいただいておりますので、それぞれの路線の充実を考えるのか、新規の路線をつくっていくのか。その辺は今後の検討課題にさせていただければと考えております。

循環バスの場合には確かに本数が少なく、使い勝手があまり良くないので、そこは今後検討していく必要があるのかなと考えております。

私も同じように本数が増えたり、早い時間にきたり遅い時間に回せたら便利だなと思っていたが、基本的には赤字のところ補助金をつけて回している。

2014年に民間のバスと同じ料金に揃えるためという理由で、料金を100円から180円に値上げをした。現状、それによって乗降者数が減ってなければ収支が少し改善していると思うが、そのお金を利用して本数を増やすことはできないのでしょうか。

(久米川町 Mさん)



◎ 市長 ◎

料金を引き上げる際にいろいろと議論があって、確かに引き上げによって乗降客数は減ったのですが、料金が引き上がったことによって収益は上昇しています。ただ、どの路線も収支率でいうと4割程度ということで、6割程度は税金を投入しているというような状況です。

収益として伸びた部分については、一定程度、基金にお金を積みかせていただいて、基本的には新規路線開設のための資金に充てるということにしています。ですので、今の段階では既存路線の改善に充てるということは考えておりませんので、それにつきましては別の財源を確保して充てていかなければならないかなというように考えております。

新規路線をつくったり、現状の路線の改善をするというのは、大体おおまかなスケジュールというのも考えてあるのでしょうか。 (久米川町 Mさん)



◎ 市長 ◎

新規路線については先ほど申し上げたように昨年の9月から美住町・富士見町の路線ができて、これについて恒常的にやるかどうかというのは、今年度の乗車率がどの程度あるかによります。市の考え方としては乗車率約40%をラインとして考えています。これが本格運行ということになれば、平成29年度から正式に運行するようなかたちになります。

その他の新規路線については、いくつかご要望をいただいているのですが、現実問題として定時定路線での運行ができる車道幅員が最低でも4.66mということになっていますので、現状ではバスを通す道路が確保できていないという問題があって、新しく路線をつくるということについてはまだ見通しが立っているわけではありません。

これまでの既存路線についても、久米川町循環については昨年度か一昨年度に地域の皆さんと懇談して、お金をかけずにできる範囲で運行時間の変更をしたり、バス停について一定程度の改善をしたりした経過がありますので、今後もしご要望等があれば現状の範囲内でできることについてはやらせていただきたいと思います。

幼稚園の送迎や通勤に使えるような時間に増やしてもらえると乗車率も上がると思うので、ご一考を。 (久米川町 Mさん)



◎ 市長 ◎

ありがとうございます。研究させていただきます。

◎ 公共交通課より ◎

コミュニティバスの増便につきましては、運転手の労務管理や運行経費等の理由から、現在のところ、これ以上運行本数を増やすことは難しいものと考えております。

また、グリーンバスの新規導入や運行改善を行う際には、「コミュニティバス新規導入・運行改善ガイドライン」に基づき、市民・行政・交通事業者の協働で検討を進めることとしています。

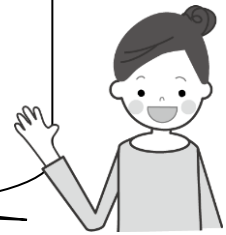
◎ 司会 ◎

ありがとうございました。他にご意見ありますでしょうか。



諏訪町方面に公園はあるが、ベンチとかがぼろぼろ。あと、袋小路なので不審者がきた時に逃げ場がない状況。たくさん公園を設置していただくのもありがたいが、既存の公園の整備とか、北山公園や八国山にちょっとした遊具を設置していただくと幼児だけでなく小学生とか幅広い世代が楽しめるんじゃないかなと思う。

(諏訪町 Oさん)



◎ 市長 ◎

今、市で管理している公園が市内に約150箇所程度ございまして、遊具やベンチ等が適切に管理されている状況ではありません。ただ、市としても傷んで危険なところについては何とか補修をしながら、計画的に改善を図っているのです。そこはぜひご理解いただきたいと思えます。

あと比較的、規模の大きい公園については、乳幼児だけではなくて小学生等も遊べるような形態ということでいろいろ工夫はしているところでございます。要望として多いのは、小学生ぐらいになると遊具というよりもボール遊びをさせて欲しいというもので、それらについては公園周辺の地域の方のご理解をいただくことが重要なので、そのことを今、庁内でどのように進めていくか検討しているところでございます。そこにつきましてはもうしばらくお時間をいただければと考えております。

◎ みどりと公園課より ◎

諏訪町につきましては、平成28年11月に諏訪児童遊園のベンチの補修をいたしました。

同一時期に開設された公園が多く、いずれも公園施設の劣化が進んできていることから、予算の範囲で順次対応を進めているところです。

◎ 司会 ◎

ありがとうございました。

それではちょうど時間になりましたので、こちらで一度、終了とさせていただきます。皆さんご協力ありがとうございました。

市民と市長の対話集会  
第107回  
タウンミーティング記録集

発行 平成29年3月  
東村山市役所市民部市民協働課  
東京都東村山市本町1丁目2番地3  
TEL 042(393)5111  
(内線2564・2565)